

ひょうごらくのうメモ

2

2026FEB



表紙：『さてここはどこでしょう？』 ポジ巡回中の風景

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター3階

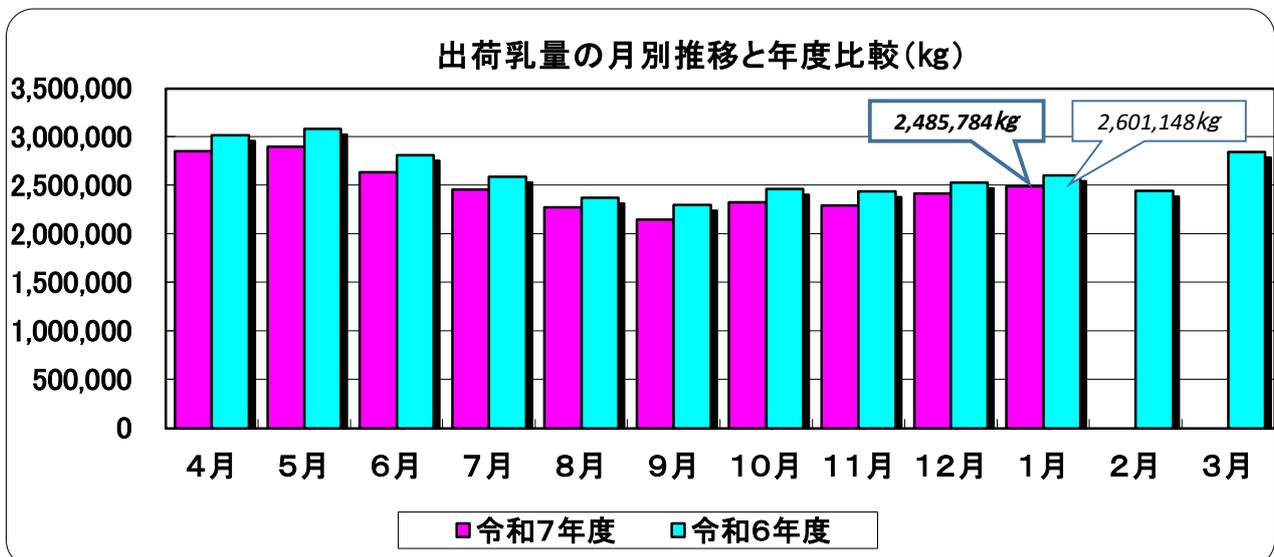
生乳生産統計

1. 全国(令和7年12月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	7年	4月	644.8	101.5
令和	7年	5月	663.4	101.2
令和	7年	6月	627.9	101.9
令和	7年	7月	613.8	101.2
令和	7年	8月	604.1	102.0
令和	7年	9月	580.4	100.2
令和	7年	10月	604.1	99.7
令和	7年	11月	586.2	99.5
令和	7年	12月	616.0	100.0
令和	8年	1月		
令和	8年	2月		
令和	8年	3月		
令和	7年度	累計	5,540.8	100.8

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 8年1月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	426,808	91.7	4,297,681	90.7	16
播州地区	273,491	82.0	2,895,404	87.1	12
丹但地区	244,503	103.6	2,341,808	98.9	12
淡路地区	1,540,982	98.4	15,232,194	96.6	62
合 計	2,485,784	95.6	24,767,087	94.5	102



理事会報告

令和8年1月22日(木)、第7回理事会を理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和7年度生乳計画生産進捗状況、令和7年度10月・11月起点限定決算について、地区別懇談会・推薦委員選出会議について報告し、次の事項を協議した。

- ①新規組合員加入申込の承認について
令和8年4月から新規組合員6名の加入申込の承認を決定した。
- ②持分譲渡並びに組合員加入申込の承認について
組合員からの持分譲渡願を受け、加入の申し込みを承認した。
- ③会計主任の任免について
任命を承認した。

開催のお知らせ



第44回兵庫県ブラック&ホワイトショウ開催決定！

来る、3月7日(土)淡路家畜市場において兵庫県ホルスタイン改良協議会主催により開催予定です。この度も、県内外へ出品募集を行ない、審査員には北海道酪農家 佐々木 宏之氏をお招きし、実施致します。

ぜひ会場へお越しいただきご声援をお送りください。

◆ 主な行事予定 ◆

2月

20日 雪印メグミルク神戸工場閉所式

24日 令和7年度牛群検定推進ブロック会議

・ 乳牛改良増殖推進事業勉強会(博多)

洲本市農業経営基盤強化促進審議会

(洲本市役所)

3月

2日 職員会議(WEB)

近畿生乳販連理事会(WEB)

7日 第44回兵庫県ブラック&ホワイトショウ

(淡路家畜市場)

17日 近畿生乳販連理事会・臨時総会

26日 全国酪農協会理事会(WEB)

31日 年度末棚卸監査(淡路SP・小野SP・本所)

参考情報

淡路家畜市場情報

令和8年1月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	9	152,778	236,500	96,800			61
前回	14	190,379		222,200	134,200			58	-37,601	-19.8%	
前年	10	81,620		115,500	6,600			57	71,158	87.2%	
オス	今回	15	186,487	259,600	137,500			55			
	前回	24	212,117	255,200	56,100			56	-25,630	-12.1%	
	前年	21	90,933	183,700	5,500			57	95,554	105.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	1	11,000	11,000	11,000			49			
	前回	4	41,800	51,700	31,900			49	-30,800	-73.7%	
	前年	1	22,000	22,000	22,000			66	-11,000	-50.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和7年12月第4金曜日・前年は令和7年1月第2金曜日

令和8年1月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	12	164,633	226,600	104,500			57
前回	9	152,778		236,500	96,800			61	11,855	7.8%	
前年	27	99,407		174,900	12,100			54	65,226	65.6%	
オス	今回	17	170,435	231,000	88,000			52			
	前回	15	186,487	259,600	137,500			55	-16,052	-8.6%	
	前年	21	103,243	200,200	23,100			56	67,192	65.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	1	27,500	27,500	27,500			46			
	前回	1	11,000	11,000	11,000			49	16,500	150.0%	
	前年	4	5,225	12,100	1,100			54	22,275	426.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和8年1月第2金曜日・前年は令和7年1月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478	
7年次	51,497	558	43,550	624	27,203	37	62,903	64,370	
7	1	16,067	33	20,782	84	7,920	5	27,344	5,796
	2	23,257	35	24,903	76	1,100	1	42,173	5,025
	3	29,838	40	30,755	74	16,500	1	68,621	5,487
	4	76,696	112	67,711	27	29,700	4	86,848	5,787
	5	62,984	31	67,442	38	32,175	4	104,366	4,564
	6	80,911	18	90,035	25	31,900	1	119,074	4,568
	7	78,232	25	125,788	34	取引なし		83,086	5,711
	8	48,251	37	47,139	57	38,500	4	42,988	5,630
	9	46,536	72	35,468	49	2,200	1	41,130	6,108
	10	48,919	53	35,897	52	39,325	4	41,860	5,696
	11	49,350	44	38,740	51	30,388	8	51,451	5,001
	12	40,397	58	36,400	57	28,325	4	63,201	4,997
8	1	52,191	27	51,083	41	38,500	3	59,468	5,138
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340	
7年次	198,771	6,484	207,956	4,283	264,569	1,337	186,548	167,009	
7	1	113,308	535	120,105	322	187,600	134	112,008	14,837
	2	143,766	573	150,335	324	230,056	120	158,652	13,048
	3	176,271	565	171,449	295	215,955	130	194,356	12,757
	4	223,428	525	232,287	311	262,511	130	218,663	13,432
	5	261,174	453	254,719	361	294,911	99	238,092	11,864
	6	299,867	333	297,813	243	345,779	87	262,505	10,365
	7	301,814	430	297,328	352	374,034	66	241,430	12,627
	8	268,665	386	251,341	354	339,621	71	192,008	13,281
	9	214,669	702	232,794	426	318,175	112	180,789	15,501
	10	163,732	616	166,400	470	251,849	107	169,106	16,309
	11	160,287	597	170,979	358	229,957	115	161,995	15,533
	12	169,100	769	179,724	467	251,065	166	159,603	17,455
8	1	183,488	753	194,598	476	236,859	153	137,954	17,579
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和8年1月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛(和・和系・他)				初妊牛(和・和系・他)				経産牛(和・和系・他)			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	1/13					582	1,326	220	766	96	920	198	566
十勝	1/15	609	560	48	328								
北海道	1/16	68	450	42	253	101	950	233	628	6	567	254	444
根室	1/19					480	1,107	253	771				
釧路	1/20					266	996	275	744				
豊富	1/23					256	909	83	666	4	536	419	485
北見	1/26					328	1,236	330	826	9	704	392	503
十勝	1/27					508	1,354	461	845	74	895	287	613
合計	8回	677	560	42	320	2,521	1,354	83	773	189	920	198	576

前年同月成績	8回	709	482	1	236	2,882	967	23	591	190	672	33	395
前月合計成績	8回	1,188	563	20	278	2,317	1,340	55	678	149	989	132	525

ホクレン乳牛市場開催日程

2月5日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	3月2日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津) 育成
2月6日(金)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成	3月6日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成
2月9日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	3月9日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
2月10日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	3月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
2月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	3月13日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
2月13日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	3月23日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
2月13日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成	3月24日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
2月19日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	3月25日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
2月20日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	3月26日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
2月27日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	3月27日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所(問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新築4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線3-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-42-2231
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

★家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和8年2月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	強含み	札幌管内における1月中旬までの生乳生産量の前年比は、函館管内が月計95.5%・累計99.9%、苫小牧管内が月計95.6%・累計98.7%となっております。
	初妊牛	7.5~8.5	強含み	2月の初妊牛の動向につきましては、分岐時期は4月~5月中旬が中心となります。春分岐牛の需要が高まることから、相場は強含みで推移すると見込まれます。出回り資源につきましては、雌雄選別腹およびF1腹ともに確保可能な状況です。育成牛につきましても、堅調な相場が見込まれます。当管内には高能力牛を保有する酪農家が多く、成績が期待できる牛のご紹介も可能でありますので、導入のご要望がございましたらご注文のほど、よろしくお願いたします。
	経産牛	3.5~4.5	横ばい	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	やや強含み	根釧管内における1月中旬までの生乳生産量の前年比は、釧路管内が月計100.3%・累計102.6%、中標津管内が月計98.5%・累計100.6%となっております。
	初妊牛	7.5~8.5	強含み	2月の初妊牛の動向につきましては、分岐時期は4月~5月中旬が中心となります。暑熱の影響による分岐時期のずれから、春分岐牛の出回り頭数は例年に比べ減少する見込みです。このため、相場は強含みで推移すると見込まれます。腹別では、F1腹と和牛受精卵腹の価格差が縮小しており、雌雄選別腹につきましても引き合いが強くなり、価格は堅調に推移すると見込まれます。育成牛につきましても、来年春分岐予定牛が中心となることから、相場は堅調に推移する見通しです。
	経産牛	4.5~5.5	強含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	やや強含み	帯広管内における1月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計99.6%・累計102.4%となっております。
	初妊牛	7.5~8.5	強含み	2月の初妊牛の動向につきましては、分岐時期は4月~5月中旬が中心となります。道内外における春分岐牛の需要増加により、引き合いは強まり、相場は強含みで推移すると見込まれます。出回り資源につきましては、雌雄選別腹およびF1腹ともにございませが、地域による偏りが見られます。和牛受精卵腹につきましては、引き合いが強くなり、価格の上昇が見込まれます。育成牛につきましても、春生まれ牛が中心となるため、堅調な相場となっております。即戦力となる経産牛につきましても、引き続き引き合いが強くなり、相場は強含みで推移する見通しです。
	経産牛	4.5~5.5	強含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	強含み	道北管内における1月中旬までの生乳生産量の前年比は、稚内管内が月計102.3%・累計101.4%、北見管内が月計100.0%・累計101.5%となっております。
	初妊牛	7.0~8.0	強含み	2月の初妊牛の動向につきましては、分岐時期は4月~5月中旬が中心となり、春分岐牛が出回り始めます。前年7月の記録的な高温による暑熱の影響が顕著に現れており、春分岐牛の出回りは例年に比べ少ない状況です。このため、相場は強含みで推移すると見込まれます。経産牛につきましては、乳価上昇を背景に秋口にかけて即戦力牛への需要が高まる見通しであり、価格は堅調かつ強含みの展開が予想されます。
	経産牛	4.5~5.5	強含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	やや強含み	道内全体における1月中旬までの生乳生産量の前年比は、月計99.4%・累計101.5%となっております。
	初妊牛	7.5~8.5	強含み	2月の初妊牛の動向につきましては、全体的に強含みの価格帯で推移する見込みです。春分岐牛を中心とした出回り資源の少なさに加え、大型牧場による育成牛の購買増加により引き合いが強まっております。この影響を受け、販売用初妊牛の価格も堅調に推移する見通しです。初妊牛相場の高騰に伴い、即戦力となる経産牛への需要も強まると予想されることから、搾乳用兼牛全般で引き合いが強まるものと見込まれます。導入をご希望の場合は、お早めのご注文をお願いいたします。
	経産牛	4.5~5.5	強含み	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選苗購買による予想相場です。

庭先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一顧下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいた後、納得いただけよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所が世話を申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2388

令和8年2月10日

輸入粗飼料の情勢

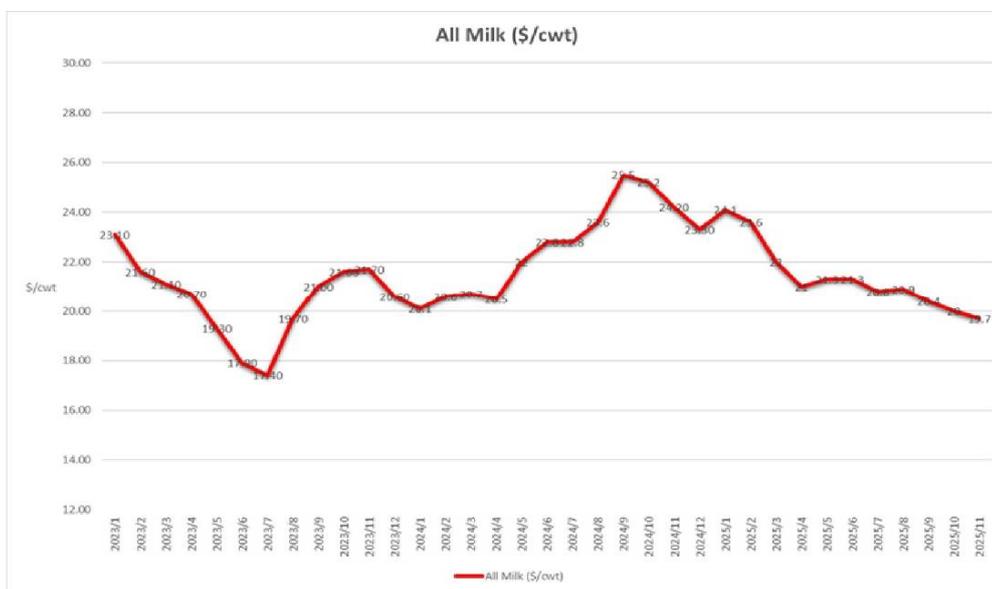
全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路においては、11月に発生した本船火災(ONE HENRY HUDSON)にて発生した現地より共同海損(General Average: GA)が宣言されました。この宣言に伴うGA手続きの実施により、当該本船に積載されていた貨物については安全確認および処理に時間を要しており到着は通常より大幅に遅れる見込みとなっています。また、振替輸送の影響により後続の本船では遅延が連鎖的に発生しています。

日本国内の一部ターミナルでは、昨今の経済情勢を背景とした人件費および諸経費の高騰を受け、各種作業料金の値上げが実施されております。

米国乳価動向



(出典: USDA 全米平均クラスⅢ乳価 単位: 米国ドル/100ポンド)

2023年1月~2025年11月

米国乳価は2025年11月には20ドル/100ポンドを切り低迷しております。これは、米国生乳生産量は増加傾向にあるものの、他国からの供給もあり供給が過剰な状態になっていることが原因となります。米国内では、各地の酪農経営を維持する

ため、乳牛の淘汰を増やし生乳生産量の抑制を行うという動きも出てきています。

ビートパルプ

25年産米国产ビートパルプの生産はほぼ終了しています。産地である米国中西部や北東部では寒波による影響で工場での十分な労働力確保も難しくなっており、ペレットの生産量は当初の予想を下回っております。また、ヨーロッパやメキシコなどからの需要は引き続き強く、産地相場は値上がりしています。

アルファルファ

米国产アルファルファの主産地であるワシントン州のコロンビアベースン、並びにオレゴン州のクリスマスバレー及びクラマスフォールズでは25年産の収穫が終了しました。中国の旧正月を前に、輸出向けの出荷はやや回復したものの、輸出業者が求める価格帯は生産農家にとって依然として厳しく、産地での取引は引き続き低調に推移しています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、25年産の収穫作業が終了しています。25年産の作付面積は前年に比べ微増しましたが、産地相場の低迷が続いており、生産者の作付意欲は低下しています。産地在庫も余剰感はないため、今後の価格動向には注視していく必要があります。

クレーングラス（クレーンは全酪連の登録商標です）

26年産のクレーングラス作付面積の見通しについて、インペリアルバレーにある砂糖大根工場の閉鎖により、約2.5万エーカーの農地が他作物へ転作される見込みとなっております。その一部がクレーングラスへ転換される可能性があり、今後の作付動向を注視していく必要があります。

バミューダ

25年産の生産は終了しています。バミューダハイの日本向けの需要は昨年に続き低調に推移しています。一方、台湾向けや韓国向けの輸出は堅調に推移しております。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

25年産の生産は終了しています。産地では生育期の降雨不足により単収及び収穫量は例年比15～30%減少しましたが、韓国向けを中心とした輸出向けには旺盛な需要が続いています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州レスブリッジでは 2 番刈が終了しましたが、1 番刈は8 月下旬に終了したものの断続的な雨で刈遅れが多発し、上級品の発生がかなり限定的な作柄となりました。このため、現地では上級品を中心に馬向けの買付競争が続いており、現地価格は上昇傾向にあります。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

全ての地域で2025年産オーツハイの収穫作業が終了しました。西豪州では予想を上回る良好な生育条件に恵まれ、多くの圃場で降雨前に収穫作業が終わりました。一部雨当たり品の発生があるものの全体的に見た目が良好なものが豊富に収穫されています。一方、南豪州や東豪州では、収穫期に7割近くが降雨被害にあい、輸出向けとならない品質のものが多数発生しました。東豪州のうち内陸部では乾燥が順調に進んだことで上級品が多く収穫されたものの、その他の地域では低級品の発生が中心になりました。

欧州産粗飼料

欧州産の輸出主要国であるスペインでは25年産の収穫が終了しています。昨年はEU乾草脱水飼料作物キャンペーンの一環として、日本の輸入業者を対象とした欧州視察旅行が実施されました。その影響もあり、スペインからの輸入量は前年比204%となり、急激な増加を見せました。しかしながら昨今はユーロ高となっているため、今後の価格動向には注視していく必要があります。また、昨年11月にはカタルーニャ州バルセロナ県でアフリカ豚熱の感染が確認され、韓国と台湾はスペインからの粗飼料輸入を一時禁止しています。その影響で韓国から安価な繊維源に対する需要が強まり、米国や豪州のストロー系の価格を押し上げる要因となっています。

以上